

慢性関節リウマチ 大防風湯など有用

Q 三十八歳、主婦。五年前に二人目の子供を出産してから指の関節のこわばりや痛みが起こり、慢性関節リウマチとの診断を受けました。鎮痛剤を服用していますが、病院では「一生つきあつていく病氣」と言います。漢方でリウマチは治りますか。

A 慢性関節リウマチで来院する方は非常に多い。女性に多く出産やストレスを契機に発病するが、原因は不明である。

進行に応じて早期・中期・後期に大別して処方を用いるが、早期には痛みをとるため麻黄（まおう）を含む処方を用いることが多い。麻黄は薏苡仁（よくいにん）と併用すると疼痛（とうつう）軽減作用が強まる。これに杏仁（きよ

うにん）と甘草（かんぞう）を組み合わせた麻黄湯（まきょうよくかんとう）がよく効く。関節に熱をもつてはれる場合は麻黄に石膏や朮（じゆつ）を組み合わせた越婢加朮湯（えつびかじゆつとう）などが頻用される。

中期には柴胡（さいこ）を含む処方では免疫調節や血行促進を図ることが多い。柴胡桂枝湯（さいこけいしとう）などが頻用される。後期には薬用人参・黄耆（おうぎ）・附子（ぶし）を含む処方では体力を補い、体を温めながら、筋力の衰え、貧血や関節の変形に対処する。大防風湯（だいぼうふうとう）が最もポピュラーな処方では長期使用する。

完治は難しいが、生活の質の向上には漢方治療は極めて有用である。